

大谷山22号墳出土埴輪の検討

富永 里菜 (和歌山市教育委員会)

<経緯>

・丹野氏 (和歌山県文化財センター)、藤藪氏 (和歌山市文化スポーツ振興財団) による調査で、大谷山22号墳出土埴輪の中に、コロク形埴輪等の未報告資料があることが判明。

・コロク形埴輪の出土例は2例目ということで12月中旬に報道発表予定。

<大谷山22号墳の概要>

- ・岩橋千塚古墳群中で、大谷山の山頂に立地する前方後円墳。
- ・墳丘全長67m、後円部径35m、南側のくびれ部に造り出しあり。
- ・後円部中央に南に開口する横穴式石室あり。石室全長7.8m、玄室長4.1m・幅2.5m。
- ・羨道攪乱土中から馬具 (剣菱形杏葉) 出土、羨道入口で須恵器群出土。
- ・造り出しの方形区画の埴輪列は、南北8m、東西14m。

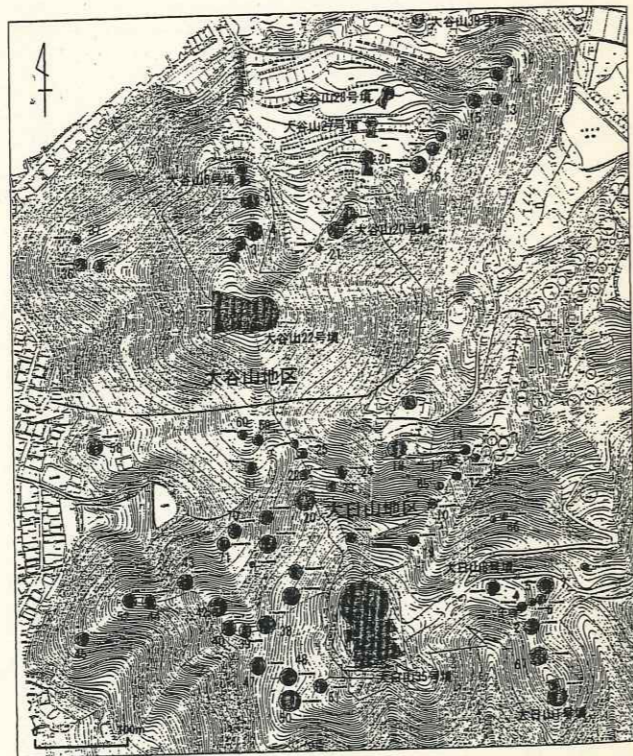


図2 ※図1・2は『平成20年度特別展 岩橋千塚』和歌山県立博物館

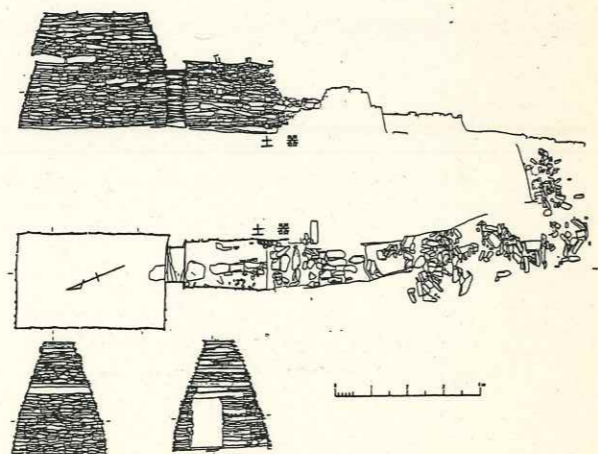
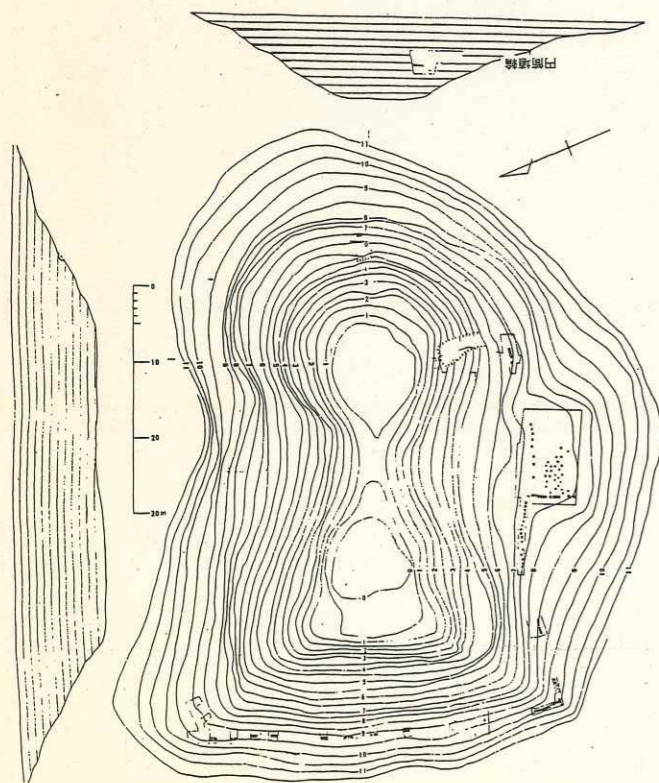
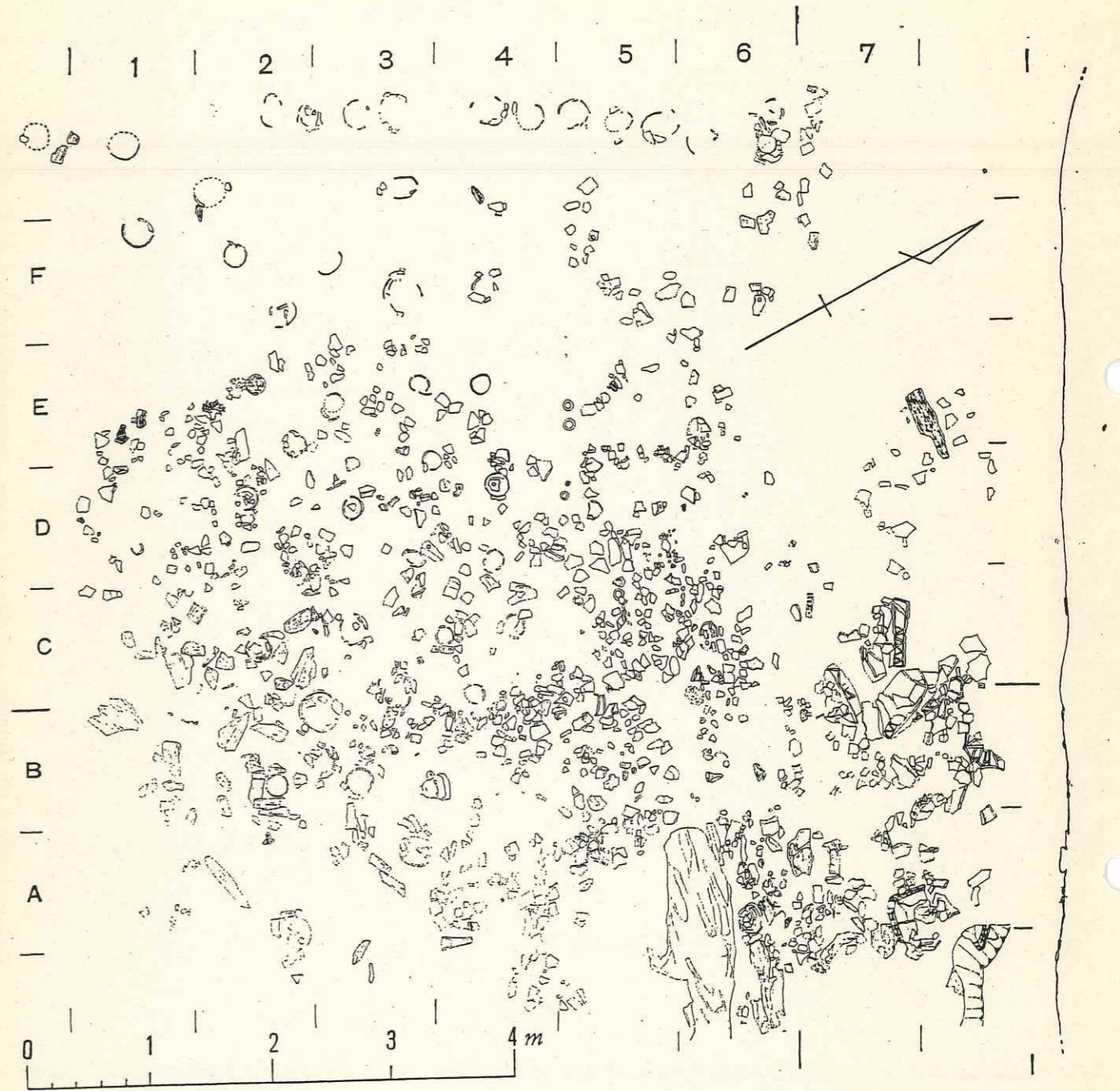


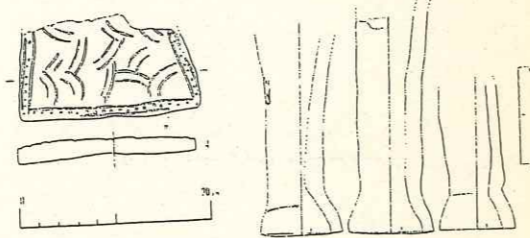
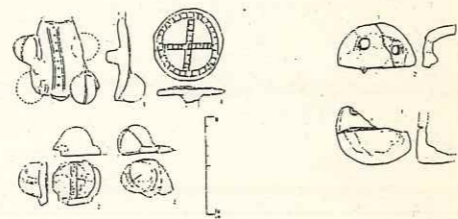
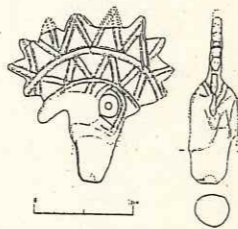
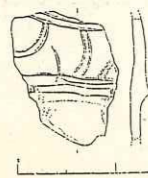
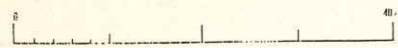
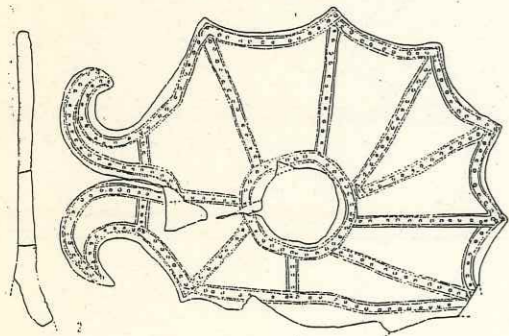
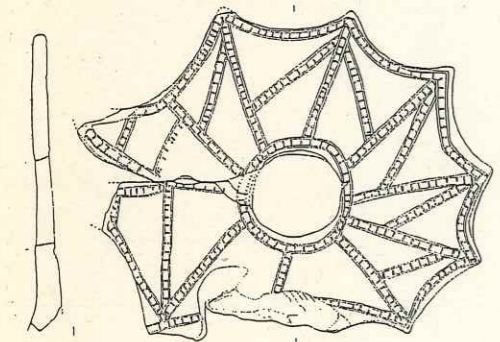
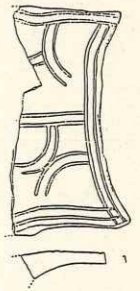
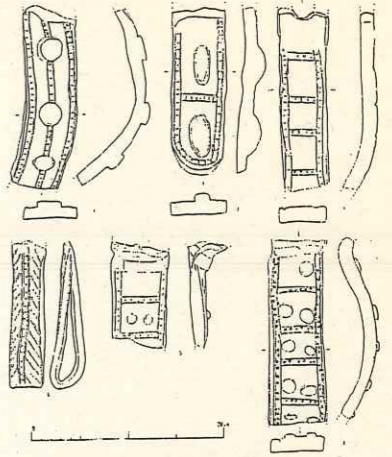
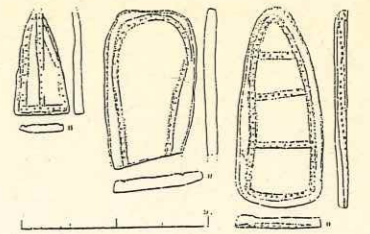
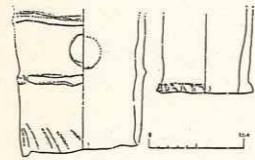
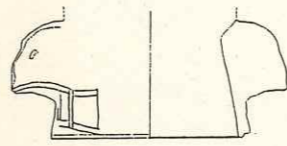
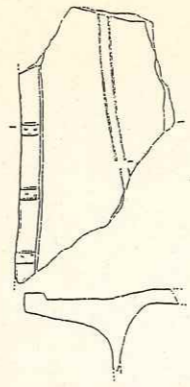
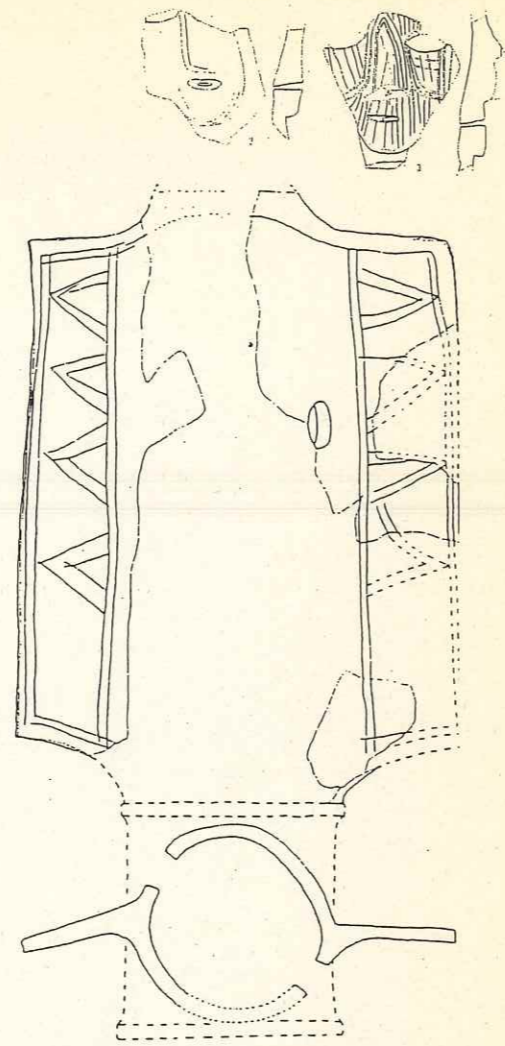
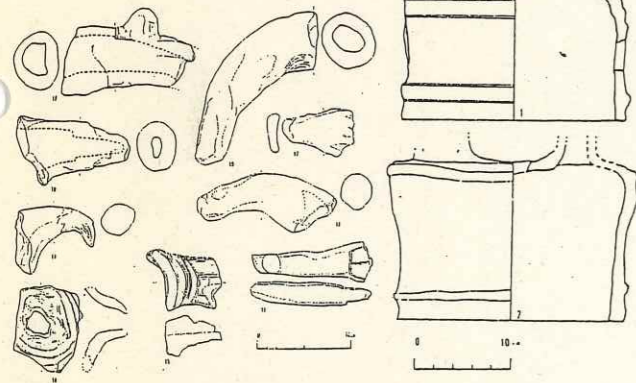
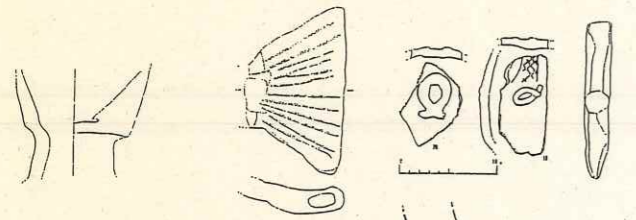
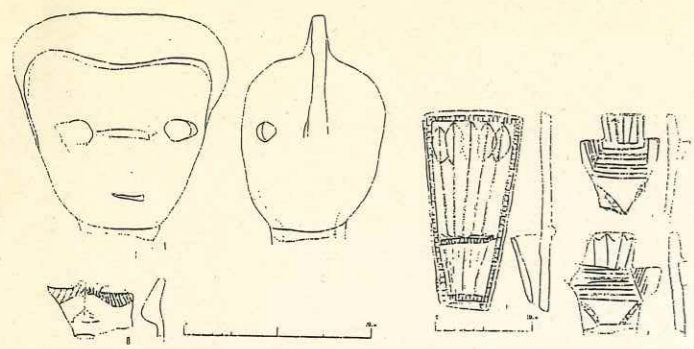
図4 ※図3・4は『岩橋千塚』1967 図6a・b 関西大学考古学研究会編



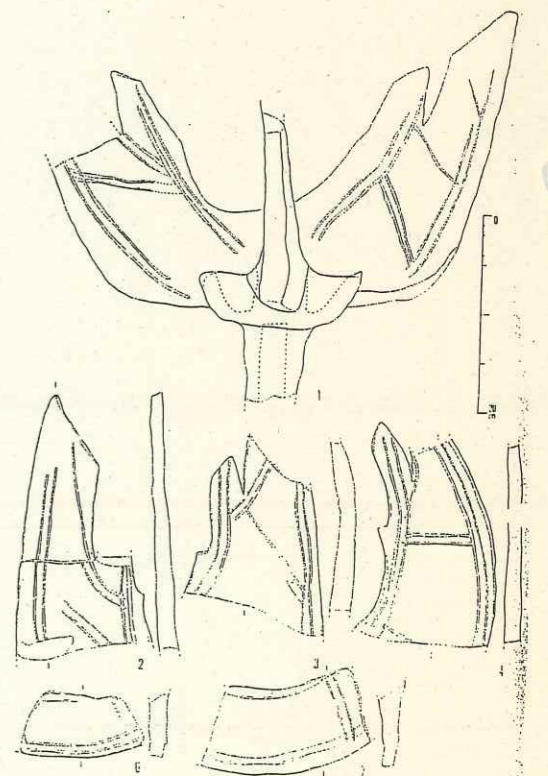
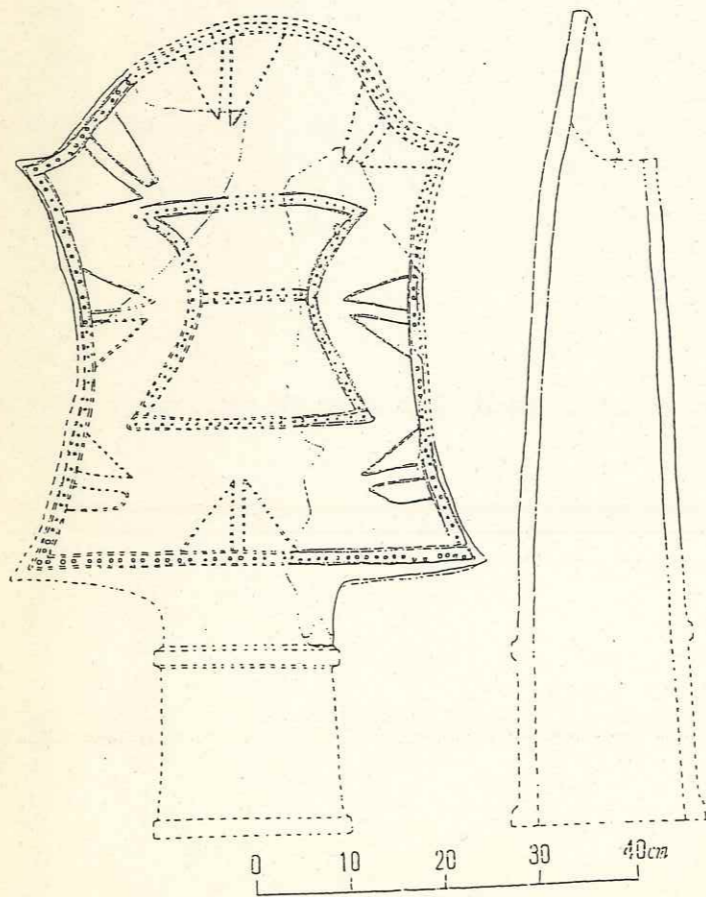
- ・方形区画 13×14m (東半は削平)
- ・円筒埴輪・形象埴輪 基部40本
- ・方形区画の北側に 家形・桶形・双脚輪杖文形埴輪
- ・方形区画内に 人物・馬形・鶴形埴輪
- ・人物は 台部3個、腕部20石以上 → 10体以上あり。

図5





6



7



